



J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

J-B Weld Company, LLC

バージョン番号: 3.12.3.1
安全データシート - JIS Z 7253 : 2019 準拠

発行日: 05/18/2021
印刷日: 05/18/2021
S.GHS.JPN.JA

セクション1 化学品及び会社情報

製品に関する情報

製品名	J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A
化学物質名	該当しない
同義語	8265S (J-B Weld Original Twin Tubes) 8276 (KwikWeld) Part A
他の製品特定手段	データ無し

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限	Bisfenolo F (BPF), cioè bis (4-idrossibifenil) metano o bisfenolo-F (BPF) è un diolo utilizzato per la sintesi di resine epossidiche a bassa viscosità. BPF comprende generalmente più isomeri quali bis (2-hydroxylphenyl) metano (cioè isomero orto-orto), bis (4-hydroxylphenyl) metano (cioè para-para isomero) e 4-hydroxylphenyl-2'-hydroxyphenylmethane (cioè orto-para isomero). グリシジルエーテルは、エポキシ樹脂のための反応性希釈剤です。
--------------	---

供給者の詳細

供給者の会社名称	J-B Weld Company, LLC	J-B Weld Company, LLC
住所	400 CMH Road Sulphur Springs TX 75482 United States	400 CMH Road Sulphur Springs, TX 75482 United States
電話番号	903-885-7696	903-885-7696
FAX番号	903-885-5911	903-885-5911
ホームページ	www.jbweld.com	www.jbweld.com
e-メール	info@jbweld.com	info@jbweld.com

緊急連絡電話番号

会社名	InfoTrac	InfoTrac
緊急連絡電話番号	Tokyo +81 3-6388-0366	For US and Canada (24 hour): 1-800-535-5053
その他の緊急連絡電話番号	データ無し	データ無し

セクション2 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の分類

分類 [1]	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2A, 発がん性 区分1B, 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分3 (気道刺激性), 皮膚腐食性/刺激性 区分2, 皮膚感作性 区分1
凡例:	1. Chemwatchによる分類; 2. 日本 NITE GHS 分類データベースによる分類; 3. EC 規則 1272/2008 - 附属書 VIによる分類

GHSラベル要素

絵表示:	
注意喚起語	危険

危険有害性情報

H319	強い眼刺激
H350	発がんのおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き: 安全対策

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P271	屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P261	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

注意書き: 応急措置

P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P333+P313	皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P304+P340	吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

注意書き: 保管(貯蔵)

P405	施錠して保管すること。
P403+P233	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

注意書き: 廃棄

P501	内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、認可を受けた有害または特別廃棄物処理場に廃棄すること。
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	委員会規則 (EU) 2018/1881 内分泌かく乱物質に関する固有の要件に記載されている

セクション3 組成および成分情報

物質

混合物の組成については、以下のセクションを参照してください

混合物

CAS番号	%[重量]	名称	官報公示整理番号		ナノフォーム粒子特性
			化審法	安衛法	
25068-38-6*	25-50	bisphenol A diglycidyl ether polymer	7-1279	公表	データ無し
2530-83-8*	0.1-0.99	gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	2-2071	公表	データ無し
1333-86-4	0.05-0.1	カーボンブラック	5-3328, 5-5222	公表	データ無し
1317-65-3*	40-60	Limestone	-	-	データ無し
14808-60-7*	0.1-0.99	Quartz	1-548	公表	データ無し
2425-79-8*	1-5	1,4-butanediol diglycidyl ether	2-396	-	データ無し
65997-17-3	1-5	アルミナホウ珪酸ガラス	-	-	データ無し
7439-89-6	10-20	切削鉄くず又は切削鋼くず	-	-	データ無し
2095-03-6	1-5	ビスフェノールFのジグリシジルエーテル [e]	-	-	データ無し
凡例:	[e] 内分泌かく乱作用をもつと認められている物質				

セクション4 応急措置

必要な応急措置の説明

眼に入った場合	<p>眼に入った場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにきれいな流水で洗浄すること。 ▶ 洗眼は、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように行うこと。 ▶ 速やかに医師の手当てを受けること。痛みが続いたり繰り返す場合は、医師の手当てを受けること。 ▶ 眼に損傷がある場合、コンタクトレンズの取り外しは、専門家に任せること。
皮膚に付着した場合	<p>皮膚に付着した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに汚染された衣類すべて(履物を含む)を脱がせること。 ▶ 流水で皮膚および毛髪を洗浄すること。必要に応じて石鹸を使用すること。 ▶ 炎症がある場合には、医師の手当てを受けること。
吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガスや燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から退去すること。 ▶ 患者を寝かせ、体を温めて安静を保つこと。 ▶ 義歯等の装具は気道を塞ぐおそれがあるため、可能であれば応急措置を施す前に取り外すこと。 ▶ 呼吸が停止している場合は、ダイヤモンドバルブ式人工蘇生器、バックバルブマスク、ポケットマスクなどを使用して人工呼吸を行うこと。必要に応じて心肺蘇生を行うこと。 ▶ 病院または医師のもとへ速やかに搬送すること。

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

飲み込んだ場合

- ▶ 直ちにコップ1杯の水を飲ませること。
- ▶ 応急措置は通常必要とは考えられていない。懸念がある場合には、医師に相談すること。

医師に対する特別な注意事項

対症療法を行うこと。

セクション5 火災時の措置

消火剤

金属粉じんの火災は、砂、不活性の乾燥粉末で窒息消火させる必要がある。

水、二酸化炭素または泡沫を使用しないこと。

- ▶ ハロゲン化物消火器を使用してはならない。

特有の危険有害性

火災の際に避けるべき条件

発火する危険性があるため、硝酸塩、酸化性酸、塩素系漂白剤、プール用塩素などの酸化剤による汚染を避けること。

消火活動に関する情報

特有の消火方法

- ▶ 消防に通報し、事故の場所と危険有害性に関する情報を伝えること。
- ▶ 火災時のみ、呼吸装置を備えた保護衣および保護手袋を着用すること。
- ▶ シリカ粉じんが大気中に飛散している場合、火災による有害性物質がシリカ粒子に吸収されていることがあるため、消防員は吸引保護具を着用すること。
- ▶ 非晶質シリカは、1700°C以上の熱が加わると溶解する。

火災及び爆発の危険性

- ▶ **燃焼粉じんはそのままにしておくこと。かき回したりすると煙雲が発生し、高温金属の表面に大量に酸素が附着し爆発することがある。**
 - ▶ **水または泡沫は爆発性水素を発生することがあるので、使用しないこと。**
- 引火性を有する。発火した場合燃焼する。
- 燃焼生成物:
一酸化炭素 (CO)
二酸化炭素 (CO2)
金属酸化物
有機物の燃焼特有の、その他の熱分解生成物
有毒ガスを放出することがある。
腐食性ガスを放出することがある。

セクション6 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

セクション 8 参照

環境に対する注意事項

セクション 12 参照

封じ込め及び浄化の方法及び機材

小規模漏出の場合

- ▶ 直ちに全ての漏出物を除去すること。
- ▶ 皮膚および目との接触を避けること。

大規模漏出の場合

- ▶ 現場から人員を退去させ、風上へ移動させること。
- ▶ 消防に通報し、事故の場所と危険有害性に関する情報を伝えること。

個人用保護具に関する情報については、SDSのセクション8をご参照ください。

セクション7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

- ▶ 吸入を含む、人体へのあらゆるばく露を避けること。
- ▶ ばく露の可能性がある場合は、保護衣を着用すること。

他の情報

- ▶ 元の容器のまま保管すること。
- ▶ 容器を完全に密封して保管すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件

- ▶ 厚手の金属包装/厚手の金属ドラム缶
- ▶ 金属缶またはドラム缶
- ▶ 製造者が推奨する容器を使用すること。
- ▶ すべての容器に明確なラベルが貼り付けられていることおよび漏れないことを確認すること。

避けるべき保管条件

- ▶ 金属の多くは、濃硝酸との接触により、白熱、激しく反応、発火、または爆発的に反応することがある。
- ▶ 多くの酸および塩基と反応し、熱および引火性ガス(例えば、H2)を放出する。
- ▶ 水素化物、アルカリ金属および窒化物のような還元剤と反応し、引火性ガス(H2)および熱を生成する。
- ▶ 元素形態の金属の多くは、(酸や水などの)活性水素原子を有する化合物と発熱反応し、可燃性の水素ガスおよび腐食性物質を生成する。
- ▶ 金属元素は、アゾ/ジアゾ化合物と反応し、爆発性物質を生成することがある。

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

セクション8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

許容濃度(OEL)

成分に関する情報

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	カーボンブラック	カーボンブラック	1 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	カーボンブラック	カーボンブラック	4 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	Limestone	石灰石 †	2 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	Limestone	石灰石 †	8 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	Quartz	吸入性結晶質シリカ	0.03 mg/m3	データ無し	データ無し	(Name (ψ, *))
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	アルミナホウ珪酸ガラス	その他の無機および有機粉塵	2 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	アルミナホウ珪酸ガラス	線香材料粉塵	1 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	切削鉄くず又は切削鋼くず	線香材料粉塵	1 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	切削鉄くず又は切削鋼くず	その他の無機および有機粉塵	2 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *

緊急ばく露限度

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
bisphenol A diglycidyl ether polymer	90 mg/m3	990 mg/m3	5,900 mg/m3
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	9.3 mg/m3	100 mg/m3	230 mg/m3
カーボンブラック	9 mg/m3	99 mg/m3	590 mg/m3
Quartz	0.075 mg/m3	33 mg/m3	200 mg/m3
1,4-butanediol diglycidyl ether	16 mg/m3	170 mg/m3	220 mg/m3
アルミナホウ珪酸ガラス	15 mg/m3	170 mg/m3	990 mg/m3
切削鉄くず又は切削鋼くず	3.2 mg/m3	35 mg/m3	150 mg/m3

成分	オリジナルIDLH	改訂IDLH
bisphenol A diglycidyl ether polymer	データ無し	データ無し
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	データ無し	データ無し
カーボンブラック	1,750 mg/m3	データ無し
Limestone	データ無し	データ無し
Quartz	25 mg/m3 / 50 mg/m3	データ無し
1,4-butanediol diglycidyl ether	データ無し	データ無し
アルミナホウ珪酸ガラス	データ無し	データ無し
切削鉄くず又は切削鋼くず	データ無し	データ無し
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	データ無し	データ無し

職業暴露バンディング

成分	職業暴露バンド評価	職業暴露帯域制限
bisphenol A diglycidyl ether polymer	E	≤ 0.1 ppm
1,4-butanediol diglycidyl ether	E	≤ 0.1 ppm
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	E	≤ 0.1 ppm
注記:	職業暴露バンディングは、化学物質の効力および曝露に関連する有害な健康上の結果に基づいて、特定のカテゴリまたはバンドに化学物質を割り当てるプロセスです。このプロセスの出力は、労働者の健康を守ることが期待される露光濃度の範囲に対応する職業暴露バンド (OEB)、です。	

ばく露管理

適切な工学的管理方法	
	<ul style="list-style-type: none"> ヒトへの発がん性が認められた物質に暴露する作業員は、雇用者の指示の元で作業し、規制区域内で作業を行うこと。 「グローブボックス」等の隔離システム内で作業を行うこと。作業完了時および隔離システム外での作業開始前に、手と腕を洗うこと。

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

個人保護措置	
眼/顔面の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ サイドシールド付きの保護メガネ。 ▶ ケミカルゴーグル。
皮膚の保護	以下の手の保護具を参照してください。
手/足の保護	<p>注記:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 人によっては何らかの皮膚刺激を生じることがある。手袋および他の保護具を脱ぐ際には、あらゆる皮膚接触を避けるよう細心の注意を払うこと。 ▶ 靴・ベルト・時計バンドなどの革製品に汚染物が付着した際は、脱ぎ捨て（または取り外し）廃棄すること。 ▶ 液体状のエポキシ樹脂を取り扱う際は、化学用保護手袋（ニトリルゴムまたはニトリルブタールエーネゴム製）、安全長靴およびエプロンを着用すること。 ▶ 綿または皮（樹脂を吸収および濃縮する）、塩化ポリビニル、ゴムまたはポリエチレン製（樹脂を吸収する）の手袋は使用しないこと。
身体の保護	以下の他の保護具を参照してください。
他の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保護クリームの上にポリエチレン製手袋 <p>ヒトへの発がん性が認められた物質が置かれている場所での一日の作業終了後、作業員は、部屋を退出する前に出口付近にて着用している保護衣および保護具を取り外し、除染または廃棄用に不浸透性容器に入れること。不浸透性容器の内容物が確認できるよう適切なラベルを表示すること。点検および除染作業を行う際、現場への立ち入りを許可された作業員は、清潔で不浸透性のある保護衣、手袋、長靴、および吸気口付き外気フードを着用すること。</p> <p>作業終了後は、保護衣を脱ぐ前に除染を行い、衣類およびフード脱衣後にシャワーを浴びること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 防護用密閉服(つなぎ型) ▶ 塩化ビニル製エプロン ▶ 保護クリーム ▶ 皮膚洗浄クリーム ▶ 洗眼用設備

呼吸用保護具

防塵マスク (AS/ NZS1716&1715、EN143:2000&149:001、ANSI Z88または国内同等規格)

セクション9 物理的及び化学的性質

物理的および化学的性質に関する基本情報

外観	反応性希釈剤は、一般に、黄色/アンバー、穏やかなエーテル様臭気を有する低粘度の液体に無色です。水への溶解度は家族間で変化します。フェノール環境上の置換は、固体を生成してもよいです。反応性希釈剤は、既知の皮膚刺激をエピクロロヒドリンの微量残留物を含有することができます。 Black Paste		
物理的状態	自由流動性ペースト	比重 (水 = 1)	1.5-2.0
臭い	データ無し	n-オクタノール/水 分配係数	データ無し
臭気閾値	データ無し	自然発火温度 (°C)	データ無し
pH (製品)	データ無し	熱分解温度	データ無し
融点 / 凝固点 (°C)	データ無し	粘度 (cSt)	データ無し
沸点/沸騰範囲(°C)	データ無し	分子量 (g/mol)	データ無し
引火点 (°C)	データ無し	味	データ無し
蒸発速度	データ無し Not Available	爆発性	データ無し
引火性	データ無し	酸化作用	データ無し
爆発範囲-上限(%)	データ無し	表面張力 (dyn/cm or mN/m)	データ無し
爆発範囲-下限(%)	データ無し	揮発成分 (%vol)	データ無し
蒸気圧 (kPa)	データ無し	ガスグループ	データ無し
水溶解性	混ざらない	溶液のpH (1%)	データ無し
蒸気密度 (大気 = 1)	データ無し	VOC g/L	データ無し
ナノフォーム溶解度		ナノフォーム粒子特性	
粒子サイズ			

セクション10 安定性及び反応性

反応性	セクション 7 参照
化学的安定性	製品は安定しており、危険な重合反応は起こらないと考えられる。
危険有害反応可能性	セクション 7 参照
避けるべき条件	セクション 7 参照
混触危険物質	セクション 7 参照

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

危険有害な分解生成物

セクション 5 参照

セクション11 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

吸入した場合	呼吸器刺激性を引き起こす可能性がある。このような刺激性に対する身体反応により、深刻な肺障害を引き起こす可能性がある。不揮発性であるため、有害性を有するとは通常考えられていない。
飲み込んだ場合	EC指令または他の分類基準により、「飲み込むと有害」に分類されていない。これは、裏付けとなる動物またはヒトにおける証拠が不足しているためである。
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した場合、皮膚炎を引き起こす可能性がある。 皮膚疾患がある場合、症状を悪化させることがある。 皮膚接触により、(EC指令の分類に基づく)有害な健康影響を及ぼす物質とは考えられていない; 外傷、病変部または擦り傷を通じて体内に侵入すると、健康被害を引き起こすことがある。 炭化水素へのばく露は、不整脈を引き起こすことがある。中度の毒性が生じると、めまい、頭痛、吐き気が生じることがある。重度の毒性が生じると、肺機能が低下し、意識喪失または死に至ることがある。炭素数C4の炭化水素は、特に神経系に有害である。石油ガス(オレフィン不純物含有)の吸入は、眠気を誘発することがある。酸素濃度減少により、呼吸不全、精神障害、協調運動障害、思考力低下、吐き気および嘔吐を伴う重度のチアノーゼおよび窒息が生じることがあり、意識喪失および死に至ることがある。 開放創、擦り傷または炎症がある場合は、皮膚への接触を避けること。 切創、擦り傷または病変部などを通じて血流に侵入すると、悪影響を及ぼす全身性疾患を引き起こすことがある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる外傷を適切に保護しておくこと。
眼に入った場合	本物質が、相当数の人の眼に刺激を引き起こす可能性、および/または実験動物への点眼後、24時間以上も見られる重大な眼病変を生じる可能性があることを示唆する証拠がある、またはこれらのことが実際の経験により予見される。 反復または長期的な眼との接触により、結膜の一次的な発赤(風傷に似ている)(結膜炎)を特徴とする炎症を引き起こすことがある; 一時的な視覚障害や他の一時的な眼障害/潰瘍が発生することがある。
慢性毒性	本製品の長期吸入(職業ばく露など)は、癌発症リスクを高めることが研究データにより確認されている。 呼吸刺激物への長期ばく露により、呼吸困難および全身性の疾患を伴う気道疾患を引き起こすことがある。 人によっては、皮膚に付着することにより、感作性反応を生じる可能性が高くなると考えられる。 ヒトに対して発がん性があると考えられるに足る、実験やその他の情報に基づく十分な証拠がある。 反復または長期的な職業ばく露により物質が体内に蓄積し、その結果身体に害を及ぼすことがある。 ビスフェノールAは女性ホルモンと類似した作用を有することがあり、妊娠中の女性に投与すると胎児に障害が生じることがある。男性の生殖器官および精子に障害を生じることもある。 呼吸可能な粉じんへの過剰ばく露は、咳、喘鳴、呼吸困難、肺機能障害を引き起こすことがある。慢性症状には、肺活量低下と肺感染症が含まれる。作業場での高濃度の微粉化された粉じんへの反復ばく露は、じん肺を引き起こすことがある。人体への影響に関わらず、吸入された粉じんが肺に蓄積された状態をじん肺という。特に、0.5ミクロン(1/50000インチ[H1])未満の粒子が大量に存在するとき起こる。X線で肺に陰影を確認することができる。じん肺の症状には、空咳、労作時の息切れ、胸郭拡張の増大、脱力感、体重減少が含まれる。進行すると、咳に粘り気のある痰が混じるようになり、肺活量が減少し、息切れが一層ひどくなる。その他兆候・症状には、呼吸音の変化、運動時の酸素摂取量の減少、気腫、また、稀に気胸(胸腔内に空気)が含まれる。

内分泌かく乱特性

多くの化学物質は、内分泌系として知られる、人体のホルモンを模倣したり阻害したりすることがある。内分泌かく乱物質は、内分泌(またはホルモン)系を阻害する可能性のある化学物質である。内分泌かく乱化学物質は、体内で自然分泌されるホルモンの合成、分泌、輸送、結合、作用、または分解・排泄を阻害する。ホルモンによって制御されている体内のシステムは、内分泌かく乱化学物質によって狂わされることがある。具体的には、内分泌かく乱化学物質は、学習障害の発生、さまざまながんおよび性的発達障害などの身体形態異常に関係している可能性がある。内分泌かく乱化学物質は動物に悪影響を及ぼす。しかし、人体への潜在的な健康影響については、限定的な科学的情報が得られていない。人類は通常、一度に複数の内分泌かく乱化学物質にばく露しており、公衆衛生への影響を評価することが困難であるためである。

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A	毒性	刺激性
	データ無し	データ無し
bisphenol A diglycidyl ether polymer	毒性	刺激性
	オーラル(マウス) LD50; >500 mg/kg ^[2] 経皮(ラット) LD50; >1200 mg/kg ^[2]	データ無し
gamma-glycidioxypropyltrimethoxysilane	毒性	刺激性
	吸入(ラット) LC50; >5.3 mg/l4h ^[1] 経口(ラット) LD50; >5350 mg/kg ^[1] 経皮(ウサギ) LD50; 4247.9 mg/kg ^[2]	データ無し
カーボンブラック	毒性	刺激性
	経口(ラット) LD50; >8000 mg/kg ^[1] 経皮(ラット) LD50; >2000 mg/kg ^[1]	皮膚: 有害作用は認められない(刺激性なし) ^[1] 眼: 有害作用は認められない(刺激性なし) ^[1]
Limestone	毒性	刺激性
	経口(ラット) LD50; 6450 mg/kg ^[2]	データ無し
Quartz	毒性	刺激性
	経口(ラット) LD50; 500 mg/kg ^[2]	データ無し

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

1,4-butanediol diglycidyl ether	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; 1118 mg/kg ^[1] 経皮 (ウサギ) LD50; 1130 mg/kg ^[2]	
アルミナホウ珪酸ガラス	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; >2000 mg/kg ^[1]	データ無し
切削鉄くず又は切削鋼くず	毒性	刺激性
	(ヒト) 経口 LD50; 200 mg/kg ^[2]	データ無し
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; >4000 mg/kg ^[2] 経皮 (ウサギ) LD50; >6000 mg/kg ^[2]	Eye (rabbit): slight * Skin (rabbit): moderate *

凡例: 1. 欧州ECHA登録物質 - 急性毒性 - から得られた値。 2. *の値は製造者のSDSから得られた値。特に注記のないデータはRTECSから抽出した値。

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A	物質へのばく露後、喘息に似た症状が数ヶ月ないし数年にわたり続くことがある。これは、高濃度の高刺激性物質へのばく露後に発症することがある、反応性気道機能不全症候群 (RADS) として知られる非アレルギー性疾患による可能性がある。RADSを診断するための主な基準には、非アトピー性の個人に気道疾患の病歴がなく、刺激性物質へのばく露が確認されてから数分から数時間以内に持続性喘息様症状が突然発症することが挙げられる。RADSを診断するための他の基準には、肺機能検査での可逆性の気道閉塞、メタコリン負荷試験での中等度から重度の気管支過敏性、および好酸球増多症を伴わない最小限のリンパ球性炎症の欠如が挙げられる。刺激性物質の吸入によって引き起こされるRADS (または喘息) は、刺激性物質の濃度およびばく露時間と関連を持つ稀な疾患である。一方、産業性気管支炎は、高濃度の刺激性物質 (主に粒子) へのばく露が原因で起こる疾患であるが、ばく露停止後は、完全に可逆的である。特徴的な症状として、呼吸困難、咳、粘液産生が挙げられる。
カーボンブラック	警告: IARCにより、グループ2B「ヒトに対して発がん性がある可能性がある」物質に分類される。
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	長期または反復ばく露により、皮膚に刺激を与えることがあり、皮膚に接触した場合、皮膚の発赤、腫れ、小水疱形成、落屑および肥厚を引き起こすことがある。
J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A & ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	以下の情報は、グループとしての接触アレルゲンに関するものであり、この製品に固有のものではない場合がある。 アレルギー性物質に接触することで、接触湿疹(まれに、じんましん、またはクイック浮腫)が即座に発症する。接触湿疹の発症は、遅延型の細胞媒介 (Tリンパ球) 免疫反応を伴う。接触じんましんなどの他のアレルギー性皮膚反応は、抗体媒介免疫反応を伴う。接触性アレルゲンの深刻さは、物質が潜在的に有する感作性によって特定されるだけでなく、接触した部位および接触頻度なども重要な要因となる。広く使用されている弱感作性物質は、少数にのみばく露する強感作性物質よりも、重大なアレルギー性物質であると考えられている。臨床的に判断し、被験者の1%以上にアレルギー性反応が診られた場合、その物質は要注意物質とみなされる。
カーボンブラック & アルミナホウ珪酸ガラス	文献調査では、有意な急性毒性データは確認されていない。

急性毒性	✗	発がん性	✓
皮膚腐食性/刺激性	✓	生殖毒性	✗
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	✓	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	✓
呼吸器感作性又は皮膚感作性	✓	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	✗
生殖細胞変異原性	✗	誤えん有害性	✗

凡例: ✗ - データ利用不可または、区分に該当しない
✓ - 分類済み

セクション12 環境影響情報

生態毒性

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し		データ無し
bisphenol A diglycidyl ether polymer	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	EC50	48h	甲殻類	~2mg/l	2
	EC50(ECx)	48h	甲殻類	~2mg/l	2
gamma-glycidioxypropyltrimethoxysilane	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	>420mg/l	2
	EC50	96h	藻類または他の水生植物	250mg/l	2

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

	EC50	48h	甲殻類	473mg/l	2
	LC50	96h	魚	4.9mg/l	2
	NOEC(ECx)	96h	魚	1.5mg/l	2
カーボンブラック	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	NOEC(ECx)	24h	甲殻類	3200mg/l	1
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	>0.2mg/l	2
	EC50	48h	甲殻類	33.076-41.968mg/l	4
	LC50	96h	魚	>100mg/l	2
Limestone	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
Quartz	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
1,4-butanediol diglycidyl ether	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	LC50	96h	魚	24mg/l	2
	EC0(ECx)	24h	甲殻類	32mg/l	2
アルミナホウ珪酸ガラス	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	NOEC(ECx)	72h	甲殻類	>=1000mg/l	2
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	>1000mg/l	2
	LC50	96h	魚	>1000mg/l	2
切削鉄くず又は切削鋼くず	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	NOEC(ECx)	48h	藻類または他の水生植物	0.1-4mg/l	4
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	18mg/l	2
	LC50	96h	魚	0.001mg/L	4
	EC50	48h	甲殻類	>100mg/l	2
ビスフェノールFのジグリシジルエーテル	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し

凡例: 1. IUCLID毒性データ 2. 欧州ECHA登録物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 3. EPIWIN Suite V3.12 (QSAR) - 水生毒性データ (予測) 4. 米国環境保護庁, Ecotoxデータベース - 水生毒性データ 5. ECETOC水生環境有害性評価データ 6. NITE (日本) - 生物濃縮性データ 7. METI (日本) - 生物濃縮性データ 8. ベンダーデータ から抽出

金属について:

大気中運命 - 金属含有無機物質は一般に蒸気圧が無視できる程度であり、大気中に分配されることは期待されていない。

環境中運命: 酸化、酸または塩基の存在、微生物学的プロセスなどの環境プロセスは、不溶性金属をより可溶性のイオン型に転換する可能性がある。環境プロセスは生物学的利用能を高める可能性があり、溶解度を変える上でも重要である可能性がある。

残留性・分解性

成分	残留性: 水域/土壌	残留性: 大気
gamma-glycidoxypolytrimethoxysilane	高	高
1,4-butanediol diglycidyl ether	高	高

生体蓄積性

成分	生物濃縮性

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

成分	生物濃縮性
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	低 (LogKOW = -0.9152)
1,4-butanediol diglycidyl ether	低 (LogKOW = -0.1458)

土壌中の移動性

成分	移動性
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	低 (KOC = 90.22)
1,4-butanediol diglycidyl ether	低 (KOC = 10)

内分泌かく乱特性

人体よりも環境中で、有害影響と内分泌かく乱化学物質とを関連付ける、より説得力のある証拠が見られる。内分泌かく乱化学物質は、生態系の生殖生理学を大きく変化させ、最終的には個体群全体に影響を与える。一部の内分泌かく乱化学物質は、環境中での分解速度が遅い。その特性により、長期間にわたって潜在的な有害性を有する。さまざまな野生生物種における内分泌かく乱化学物質のいくつかの十分に確立した有害影響には、卵殻薄化、異性的特徴および生殖発生障害の発現などがある。示唆されているが証明されていない野生生物種における他の有害影響には、生殖異常、免疫機能障害、骨格変形などがある。

セクション13 廃棄上の注意

廃棄方法

製品 / 容器 / 包装の廃棄方法	
	<ul style="list-style-type: none"> 容器は空であっても化学的な危険有害性を有していることがある。 可能な場合、適切な再利用 / リサイクルのため、製造者に返送すること。 製造者にリサイクルの可否を問い合わせ、可能な場合はリサイクルすること。 廃棄する場合は廃棄物の処理を管理している都道府県・市町村に問い合わせること。

セクション14 輸送上の注意

要求されるラベル

海洋汚染物質	
	該当しない

陸上輸送 (ADG): 危険物輸送規制対象外

航空輸送 (ICAO-IATA / DGR): 危険物輸送規制対象外

海上輸送 (IMDG-Code / GGVSee): 危険物輸送規制対象外

MARPOL 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送

該当しない

MARPOL 附属書 V 及び IMSBC コードによるばら積み輸送

製品名	グループ
bisphenol A diglycidyl ether polymer	データ無し
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	データ無し
カーボンブラック	データ無し
Limestone	データ無し
Quartz	データ無し
1,4-butanediol diglycidyl ether	データ無し
アルミナホウ珪酸ガラス	データ無し
切削鉄くず又は切削鋼くず	データ無し
ビスフェノール F のシグリシジルエーテル	データ無し

ICG コードによるばら積み輸送

製品名	輸送タイプ
bisphenol A diglycidyl ether polymer	データ無し
gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane	データ無し
カーボンブラック	データ無し
Limestone	データ無し
Quartz	データ無し
1,4-butanediol diglycidyl ether	データ無し
アルミナホウ珪酸ガラス	データ無し
切削鉄くず又は切削鋼くず	データ無し
ビスフェノール F のシグリシジルエーテル	データ無し

セクション15 適用法令

物質又は混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

bisphenol A diglycidyl ether polymer に関する適用法令

Japan Chemical Substances Control Law - Type II Monitoring Chemical Substances (before amendment)

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 優先評価化学物質

日本 労働安全衛生法

日本 労働安全衛生法(ISHA) - 強い変異原性が認められた化学物質 / 既存化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 旧第二種監視化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律: 優先評価化学物質

日本 政府によるGHS分類

gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane に関する適用法令

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

カーボンブラック に関する適用法令

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

世界保健機関(WHO) ナノ物質製造のための提案職業ばく露限度(OEL)

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 2B : ヒトに対して発がん性がある可能性がある

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

Limestone に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

Quartz に関する適用法令

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 1 : ヒトに対する発がん性がある

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

1,4-butanediol diglycidyl ether に関する適用法令

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

日本 労働安全衛生法(ISHA) - 強い変異原性が認められた化学物質 / 既存化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 政府によるGHS分類

アルミナホウ珪酸ガラス に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

切削鉄くず又は切削鋼くず に関する適用法令

日本 労働安全衛生法 - 危険物

日本 粉塵の許容濃度

消防法

ビスフェノールFのジグリシジルエーテル に関する適用法令

ケミカル フットプリントプロジェクト - 高懸念化学物質リスト

労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 文書の交付		
	政令名称	政令番号	
	カーボンブラック	別表第9の130	
	結晶質シリカ	別表第9の165の2	
	名称等を表示すべき危険物及び有害物		
	政令名称	政令番号	
	結晶質シリカ	別表第9の165の2	
	製造の許可を受けるべき有害物		
	政令名称	政令番号	
	該当しない	該当しない	
化管法	関連する法令・条例		
	危険物 - 酸化性の物	該当しない	
	危険物 - 引火性の物	該当しない	
	有機溶剤	該当しない	
	特定化学物質	該当しない	
	分類	政令名称	政令番号
該当しない	該当しない	該当しない	
毒物及び劇物取締法	該当しない		

J-B Weld Original Twin Tubes & KwikWeld Part A

化審法	優先評価化学物質	4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 (別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂) (液状のものに限る。), フェノール
	第1種特定化学物質	該当しない
	第2種特定化学物質	該当しない
	監視化学物質	該当しない
	一般化学物質	(グリシジロキシアルキル) トリアルコキシシラン [アルキル (C 1~3), アルコキシ (C 1~2)], ピグメント ブラック-7, ピグメント ブラック-6, 二酸化ケイ素, アルキレングリコールジグリシジルエーテル (C 2~12)

国別インベントリ状況

国別インベントリ	状況
オーストラリア - AIIC / オーストラリア非工業用	Yes
カナダ - DSL	No (Limestone; ビスフェノールFのジグリシジルエーテル)
カナダ - NDSL	No (bisphenol A diglycidyl ether polymer; gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane; カーボンブラック; Quartz; 1,4-butanediol diglycidyl ether; アルミナホウ珪酸ガラス; 切削鉄くず又は切削鋼くず)
中国 - IECSC	Yes
欧州 - EINEC / ELINCS / NLP	Yes
日本 - ENCS	No (Limestone; アルミナホウ珪酸ガラス; 切削鉄くず又は切削鋼くず; ビスフェノールFのジグリシジルエーテル)
韓国 - KECI	Yes
ニュージーランド - NZIoC	Yes
フィリピン - PICCS	Yes
米国 - TSCA	Yes
台湾 - TCSI	Yes
メキシコ - INSQ	No (bisphenol A diglycidyl ether polymer; gamma-glycidoxypropyltrimethoxysilane; 1,4-butanediol diglycidyl ether; ビスフェノールFのジグリシジルエーテル)
ベトナム - NCI	Yes
ロシア - FBEPH	No (ビスフェノールFのジグリシジルエーテル)
凡例:	Yes = 全ての成分がインベントリに記載されている No = 1つあるいはそれ以上のCAS開示成分が未記載であり、かつ、インベントリの対象外ではない (カッコ内の成分名参照)

セクション16 その他の情報

改訂日	05/18/2021
最初の発行日	08/31/2020

SDSバージョンの概要

バージョン	改訂日	更新されたセクション
2.12.2.1	04/26/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/13/2021	規制の変更
2.12.3.1	05/17/2021	分類, 環境, 成分, 品名

他の情報

製品および各成分の分類は、公式かつ信頼性の高い情報源や、参考文献を使用したChemwatch分類委員会独自の評価によるものです。SDSはハザードコミュニケーションのツールであり、リスクアセスメントの一助として使用されるべきである。掲載されているハザードが、作業場やその他の環境においてリスクをもたらすか否かは、様々な要素により決定される。暴露シナリオを参照することにより、リスクが特定されることもある。使用規模、使用頻度および現行の設備管理も考慮しなければならない。

ChemwatchのAuthorITeで作成しました。



KwikWeld Twin Tube - Part B

J-B Weld Company, LLC

バージョン番号: 2.5.3.1
安全データシート - JIS Z 7253 : 2019 準拠

発行日: 05/18/2021
印刷日: 05/18/2021
S.GHS.JPN.JA

セクション1 化学品及び会社情報

製品に関する情報

製品名	KwikWeld Twin Tube - Part B
化学物質名	該当しない
同義語	8276 (J-B Kwik/KwikWeld) Part B
他の製品特定手段	データ無し

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途及び使用上の制限	製造者の指示に従い使用すること。
--------------	------------------

供給者の詳細

供給者の会社名称	J-B Weld Company, LLC
住所	400 CMH Road Sulphur Springs TX 75482 United States
電話番号	903-885-7696
FAX番号	903-885-5911
ホームページ	www.jbweld.com
e-メール	info@jbweld.com

緊急連絡電話番号

会社名	InfoTrac
緊急連絡電話番号	Tokyo +81 3-6388-0366
その他の緊急連絡電話番号	データ無し

セクション2 危険有害性の要約

化学物質又は混合物の分類

分類 [1]	水生環境有害性 短期 (急性) 区分3, 皮膚腐食性/刺激性 区分2, 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2, 発がん性 区分1A, 皮膚感作性 区分1, 水生環境有害性 長期 (慢性) 区分3
凡例:	1. Chemwatchによる分類; 2. 日本 NITE GHS 分類データベースによる分類; 3. EC 規則 1272/2008 - 附属書 VIIによる分類

GHSラベル要素

絵表示:	
注意喚起語	危険

危険有害性情報

H315	皮膚刺激
H319	強い眼刺激
H350	発がんのおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H412	長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き: 安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P280	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

KwikWeld Twin Tube - Part B

P261	ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
P273	環境への放出を避けること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

注意書き: 応急措置

P308+P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P302+P352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。
P305+P351+P338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P333+P313	皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P337+P313	眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P362+P364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き: 保管(貯蔵)

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

注意書き: 廃棄

P501	内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って、認可を受けた有害または特別廃棄物処理場に廃棄すること。
------	---

セクション3 組成および成分情報

物質

混合物の組成については、以下のセクションを参照してください

混合物

CAS番号	%[重量]	名称	官報公示整理番号		ナノフォーム粒子特性
			化審法	安衛法	
72244-98-5*	30-50	<u>pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped</u>	-	-	データ無し
1317-65-3*	20-30	<u>Limestone</u>	-	-	データ無し
14808-60-7*	<0.5	<u>Quartz</u>	1-548	公表	データ無し
71074-89-0*	<0.5	<u>bis[(dimethylamino)methyl]phenol</u>	3-2868	公表	データ無し
90-72-2*	1-5	<u>2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol</u>	3-714, 3-762, 3-776	公表	データ無し
13463-67-7	<0.5	<u>二酸化チタン</u>	5-5225	2-(3)-509	データ無し
65997-17-3	1-5	<u>アルミナホウ珪酸ガラス</u>	-	-	データ無し
7631-86-9	0.1-1	<u>二酸化ケイ素</u>	1-548	-	データ無し
7727-43-7	20-30	<u>硫酸バリウム</u>	1-89	公表	データ無し
凡例:	[e] 内分泌かく乱作用をもつと認められている物質				

セクション4 応急措置

必要な応急措置の説明

眼に入った場合	<p>眼に入った場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにきれいな流水で洗浄すること。 ▶ 洗眼は、眼球、瞼の隅々まで水がよく行き渡るように行うこと。 ▶ 速やかに医師の手当てを受けること。痛みが続いたり繰り返す場合は、医師の手当てを受けること。 ▶ 眼に損傷がある場合、コンタクトレンズの取り外しは、専門家に任せること。
皮膚に付着した場合	<p>皮膚に付着した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちに汚染された衣類すべて(履物を含む)を脱がせること。 ▶ 流水で皮膚および毛髪を洗浄すること。必要に応じて石鹸を使用すること。 ▶ 炎症がある場合には、医師の手当てを受けること。
吸入した場合	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ヒューム、エアゾールまたは燃焼生成物を吸入した場合、汚染区域から退去すること。 ▶ 通常、他の措置を講じる必要はないと考えられている。
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 直ちにコップ1杯の水を飲ませること。 ▶ 応急措置は通常必要とは考えられていない。懸念がある場合には、医師に相談すること。

医師に対する特別な注意事項

対症療法を行うこと。

セクション5 火災時の措置

消火剤

- ▶ 使用してもよい消火剤の種類に制限はない。
- ▶ 周囲の環境に応じて適切な消火剤を使用すること。

KwikWeld Twin Tube - Part B

特有の危険有害性

火災の際に避けるべき条件	知見なし。
--------------	-------

消火活動に関する情報

特有の消火方法	<ul style="list-style-type: none"> シリカ粉じんが大気中に飛散している場合、火災による有害性物質がシリカ粒子に吸収されていることがあるため、消防員は吸引保護具を着用すること。 非晶質シリカは、1700°C以上の熱が加わると溶解する。 消防に通報し、事故の場所と危険有害性に関する情報を伝えること。 火災時にのみ、呼吸装置を備えた保護衣および保護手袋を着用すること。
火災及び爆発の危険性	<ul style="list-style-type: none"> シリカ粉じんが大気中に飛散している場合、火災による有害性物質がシリカ粒子に吸収されていることがあるため、消防員は吸引保護具を着用すること。 非晶質シリカは、1700°C以上の熱が加わると溶解する。 不燃性である。 容器が燃えることはあるが、火災が起こる危険性が非常に高いとは考えられていない。 分解により、次の有毒なヒュームを生成することがある: 硫黄酸化物 (SOx) 二酸化ケイ素 (SiO ₂) 金属酸化物 有毒ガスを放出することがある。 腐食性ガスを放出することがある。

セクション6 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置

セクション 8 参照

環境に対する注意事項

セクション 12 参照

封じ込め及び浄化の方法及び機材

小規模漏出の場合	<ul style="list-style-type: none"> 直ちに全ての漏出物を除去すること。 皮膚および目との接触を避けること。
大規模漏出の場合	軽微な危険有害性。 <ul style="list-style-type: none"> 現場から人員を退去させること。

個人用保護具に関する情報については、SDSのセクション8をご参照ください。

セクション7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 吸入を含む、人体へのあらゆるばく露を避けること。 ばく露の可能性がある場合は、保護衣を着用すること。
他の情報	<ul style="list-style-type: none"> 元の容器のまま保管すること。 容器を完全に密封して保管すること。

混触危険性を含む、安全な保管条件

適切な保管条件	<ul style="list-style-type: none"> ポリエチレン製またはポリプロピレン製容器 製造者が推奨する容器を使用すること。 すべての容器に明確なラベルが貼り付けられていることおよび漏れがないことを確認すること。
避けるべき保管条件	シリカ: <ul style="list-style-type: none"> フッ化水素酸と反応して四フッ化ケイ素ガスを生成する 六フッ化キセノンと反応して、爆発性の三酸化キセノンを生成する 二フッ化酸素と発熱反応、三フッ化塩素（これらのハロゲン化合物は一般的な工業用材料ではない）およびその他のフッ素含有化合物と爆発的に反応する フッ素、塩素酸塩と反応することがある 強酸化剤、三酸化マンガン、三酸化塩素、強アルカリ、金属酸化物、濃オルトリン酸、酢酸ビニルとの混触危険性を有する。 アルカリ炭酸塩と一緒に加熱すると激しく反応することがある。 強酸および強塩基との接触を避けること。

セクション8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

許容濃度(OEL)

成分に関する情報

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会：許容濃度（粉塵の許容濃度）	Limestone	石灰石 †	2 mg/m ³	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *

KwikWeld Twin Tube - Part B

出典	成分	物質名	TWA	STEL	ピーク	注記
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	Limestone	石灰石 †	8 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	Quartz	吸入性結晶質シリカ	0.03 mg/m3	データ無し	データ無し	(Name (ψ, *))
日本産業衛生学会: 許容濃度	二酸化チタン	二酸化チタンナノ粒子	0.3 mg/m3	データ無し	データ無し	データ無し
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	二酸化チタン	二酸化チタン	1 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	二酸化チタン	二酸化チタン	4 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	アルミナホウ珪酸ガラス	その他の無機および有機粉塵	2 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	アルミナホウ珪酸ガラス	線香材料粉塵	1 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	二酸化ケイ素	珪藻土	0.5 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	二酸化ケイ素	珪藻土	2 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	硫酸バリウム	硫化焼鉍	2 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	硫酸バリウム	硫化焼鉍	0.5 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	硫酸バリウム	硫化鉍	2 mg/m3	データ無し	データ無し	総粉塵 **
日本産業衛生学会: 許容濃度 (粉塵の許容濃度)	硫酸バリウム	硫化鉍	0.5 mg/m3	データ無し	データ無し	吸入性粉塵 *

緊急ばく露限度

成分	TEEL-1	TEEL-2	TEEL-3
Quartz	0.075 mg/m3	33 mg/m3	200 mg/m3
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	6.5 mg/m3	72 mg/m3	430 mg/m3
二酸化チタン	30 mg/m3	330 mg/m3	2,000 mg/m3
アルミナホウ珪酸ガラス	15 mg/m3	170 mg/m3	990 mg/m3
二酸化ケイ素	18 mg/m3	200 mg/m3	1,200 mg/m3
二酸化ケイ素	18 mg/m3	100 mg/m3	630 mg/m3
二酸化ケイ素	120 mg/m3	1,300 mg/m3	7,900 mg/m3
二酸化ケイ素	45 mg/m3	500 mg/m3	3,000 mg/m3
二酸化ケイ素	18 mg/m3	740 mg/m3	4,500 mg/m3
硫酸バリウム	15 mg/m3	170 mg/m3	990 mg/m3

成分	オリジナルIDLH	改訂IDLH
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	データ無し	データ無し
Limestone	データ無し	データ無し
Quartz	25 mg/m3 / 50 mg/m3	データ無し
bis[(dimethylamino)methyl]phenol	データ無し	データ無し
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	データ無し	データ無し
二酸化チタン	5,000 mg/m3	データ無し
アルミナホウ珪酸ガラス	データ無し	データ無し
二酸化ケイ素	3,000 mg/m3	データ無し
硫酸バリウム	データ無し	データ無し


職業暴露バンディング

成分	職業暴露バンド評価	職業暴露帯域制限
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	D	> 0.1 to ≤ 1 ppm
注記:	職業暴露バンディングは、化学物質の効力および曝露に関連する有害な健康上の結果に基づいて、特定のカテゴリまたはバンドに化学物質を割り当てたプロセスです。このプロセスの出力は、労働者の健康を守ることが期待される露光濃度の範囲に対応する職業暴露バンド (OEB) 、です。	

ばく露管理

適切な工学的管理方法	工学的管理 (設備対策) は、危険有害性を排除するため、または作業員を危険有害性から防御するために使用される手法である。適切に設計された工学的管理 (設備対策) により、通常、作業員が関与することなく、作業員を効果的に保護することができる。 工学的管理 (設備対策) の基本: 工程管理 - 作業または作業工程に変更を加え危険性を低減する。
------------	--

KwikWeld Twin Tube - Part B

個人保護措置	
眼/顔面の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ サイドシールド付きの保護メガネ。 ▶ ケミカルゴーグル。
皮膚の保護	以下の手の保護具を参照してください。
手/足の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ポリ塩化ビニル製などの化学用保護手袋を着用すること。 ▶ ゴム製などの安全靴または安全長靴を着用すること。 注記: <ul style="list-style-type: none"> ▶ 人によっては何らかの皮膚刺激を生じることがある。手袋および他の保護具を脱ぐ際には、あらゆる皮膚接触を避けるよう細心の注意を払うこと。 ▶ 靴・ベルト・時計バンドなどの革製品に汚染物が付着した際は、脱ぎ捨て（または取り外し）廃棄すること。
身体の保護	以下の他の保護具を参照してください。
他の保護	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 防護用密閉服(つなぎ型) ▶ 塩化ビニル製エプロン ▶ 保護クリーム ▶ 皮膚洗浄クリーム ▶ 洗眼用設備

呼吸用保護具

防塵マスク (AS/ NZS1716&1715、EN143:2000 & 149:001、ANSI Z88または国内同等規格)

セクション9 物理的及び化学的性質

物理的および化学的性質に関する基本情報

外観	Cream Colored Paste		
物理的状態	自由流動性ペースト	比重 (水 = 1)	1.5-2.0
臭い	データ無し	n-オクタノール/水 分配係数	データ無し
臭気閾値	データ無し	自然発火温度 (°C)	データ無し
pH (製品)	データ無し	熱分解温度	データ無し
融点 / 凝固点 (°C)	データ無し	粘度 (cSt)	データ無し
沸点 / 沸騰範囲 (°C)	データ無し	分子量 (g/mol)	データ無し
引火点 (°C)	データ無し	味	データ無し
蒸発速度	データ無し Not Available	爆発性	データ無し
引火性	データ無し	酸化作用	データ無し
爆発範囲-上限 (%)	データ無し	表面張力 (dyn/cm or mN/m)	データ無し
爆発範囲-下限 (%)	データ無し	揮発成分 (%vol)	データ無し
蒸気圧 (kPa)	データ無し	ガスグループ	データ無し
水溶解性	混ざらない	溶液のpH (1%)	データ無し
蒸気密度 (大気 = 1)	データ無し	VOC g/L	データ無し
ナノフォーム溶解度		ナノフォーム粒子特性	
粒子サイズ			

セクション10 安定性及び反応性

反応性	セクション 7 参照
化学的安定性	製品は安定しており、危険な重合反応は起こらないと考えられる。
危険有害反応可能性	セクション 7 参照
避けるべき条件	セクション 7 参照
混触危険物質	セクション 7 参照
危険有害な分解生成物	セクション 5 参照

セクション11 有害性情報

毒物学的影響に関する情報

吸入した場合	本物質は、(動物モデルを用いたEC指令の分類に基づく) 有害な健康影響を及ぼす物質または気道刺激性物質とは考えられていない。それでも
--------	--

KwikWeld Twin Tube - Part B

	なお、作業環境においては、適正衛生規範 (GHP) に従いばく露を最小限に抑え、適切な管理策を講じるべきである。
飲み込んだ場合	可溶性バリウム化合物の摂取は、滑らかな横紋筋および心筋の収縮（しばしば暴力的で痛みを伴う）、ゆっくりとした不整脈、高血圧、けいれん、呼吸不全により、消化管粘膜潰瘍、顔および首筋肉の緊張、胃腸炎、嘔吐、下痢、筋肉の震えおよび麻痺、不安、脱力感、呼吸困難、心臓の不規則性を引き起こす可能性がある。 EC指令または他の分類基準により、「飲み込むと有害」に分類されていない。これは、裏付けとなる動物またはヒトにおける証拠が不足しているためである。
皮膚に付着した場合	皮膚に接触した場合、皮膚炎を引き起こす可能性がある。 皮膚疾患がある場合、症状を悪化させることがある。 皮膚接触により、(EC指令の分類に基づく) 有害な健康影響を及ぼす物質とは考えられていない; 外傷、病変部または擦り傷を通じて体内に侵入すると、健康被害を引き起こすことがある。 開放創、擦り傷または炎症がある場合は、皮膚への接触を避けること。 切創、擦り傷または病変部などを通じて血流に侵入すると、悪影響を及ぼす全身性疾患を引き起こすことがある。使用前に皮膚を検査し、あらゆる外傷を適切に保護しておくこと。
眼に入った場合	本物質が、相当数の人の眼に刺激を引き起こす可能性、および/または実験動物への点眼後、24時間以上も見られる重大な眼病変を生じる可能性があることを示唆する証拠がある、またはこれらのことが実際の経験により予見される。 反復または長期的な眼との接触により、結膜の一時的な発赤 (風傷に似ている) (結膜炎) を特徴とする炎症を引き起こすことがある; 一時的な視覚障害や他の一時的な眼障害/潰瘍が発生することがある。
慢性毒性	本製品の長期吸入 (職業ばく露など) は、癌発症リスクを高めることが研究データにより確認されている。 人によっては、皮膚に付着することにより、感受性反応を生じる可能性が高くなると考えられる。 可溶性ケイ酸塩は潜在的な感受性を示さない。細菌および動物での試験では、突然変異または出生異常を引き起こされることは証明されていない。

内分泌かく乱特性

データ無し

KwikWeld Twin Tube - Part B	毒性	刺激性
	データ無し	データ無し
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	毒性	刺激性
	吸入 (ラット) LC50; >100 mg/m ³ * ^[2]	データ無し
	経口 (ラット) LD50; 2600 mg/kg * ^[2]	
	経皮 (ウサギ) LD50; >10200 mg/kg * ^[2]	
Limestone	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; 6450 mg/kg ^[2]	データ無し
Quartz	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; 500 mg/kg ^[2]	データ無し
bis[(dimethylamino)methyl]phenol	毒性	刺激性
	データ無し	データ無し
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; 2169 mg/kg ^[1]	皮膚: 観察されなかつ悪影響 (刺激性ではありません) ^[1]
	経皮 (ラット) LD50; >973 mg/kg ^[1]	目: 悪影響観察 (不可逆的な損傷) ^[1]
二酸化チタン	毒性	刺激性
	吸入 (ラット) LC50; >2.28 mg/l4h ^[1]	Skin (human): 0.3 mg /3D (int)-mild *
	経口 (ラット) LD50; >=2000 mg/kg ^[1]	皮膚: 有害作用は認められない (刺激性なし) ^[1]
アルミナホウ珪酸ガラス	毒性	刺激性
	経口 (ラット) LD50; >2000 mg/kg ^[1]	データ無し
二酸化ケイ素	毒性	刺激性
	吸入 (ラット) LC50; >0.139 mg/L4h ^[1]	Eye (rabbit): non-irritating *
	経口 (ラット) LD50; >1000 mg/kg ^[1]	Skin (rabbit): non-irritating *

KwikWeld Twin Tube - Part B

	経皮 (ラット) LD50: >2000 mg/kg ^[1]	皮膚: 有害作用は認められない (刺激性なし) ^[1]
		眼: 有害作用は認められない (刺激性なし) ^[1]
硫酸バリウム	毒性	刺激性
	オーラル (マウス) LD50; >3000 mg/kg ^[2]	データ無し
	経皮 (ラット) LD50: >2000 mg/kg ^[1]	
凡例:	1. 欧州ECHA登録物質 - 急性毒性 - から得られた値。2. *の値は製造者のSDSから得られた値。特に注記のないデータはRTECSから抽出した値。	

二酸化チタン	ばく露により、変異原性を有する不可逆的影響が生じる可能性があることが、in vitro試験および動物実験により明らかになっている。中程度の眼刺激性を有し、炎症を引き起こすことがある。刺激性物質への反復または長期ばく露は、結膜炎を引き起こすことがある。長期または反復ばく露により、皮膚に刺激を与えることがあり、皮膚に接触した場合、皮膚の発赤、腫れ、小水疱形成、落屑および肥厚を引き起こすことがある。 警告: IARCにより、グループ2B「ヒトに対して発がん性がある可能性がある」物質に分類される。
二酸化ケイ素	本物質は、IARC グループ3に分類される: ヒト発がん性について分類できない。 発がん性の証拠が不十分であるか、または動物実験において限定的であると考えられる。
KwikWeld Twin Tube - Part B & pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	以下の情報は、グループとしての接触アレルゲンに関するものであり、この製品に固有のものではない場合がある。 アレルギー性物質に接触することで、接触湿疹(まれに、じんましん、またはクインケ浮腫)が即座に発症する。接触湿疹の発症は、遅延型の細胞媒介 (Tリンパ球) 免疫反応を伴う。接触じんましんなどの他のアレルギー性皮膚反応は、抗体媒介免疫反応を伴う。接触性アレルゲンの深刻さは、物質が潜在的に有する感受性によって特定されるだけでなく、接触した部位および接触頻度なども重要な要因となる。広く使用されている弱感受性物質は、少数にのみばく露する強感受性物質よりも、重大なアレルギー性物質であると考えられている。臨床的に判断し、被験者の1%以上にアレルギー性反応が診られた場合、その物質は要注意物質とみなされる。
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped & 二酸化チタン	物質へのばく露後、喘息に似た症状が数ヶ月ないし数年にわたり続くことがある。これは、高濃度の高刺激性物質へのばく露後に発症することがある、反応性気道機能不全症候群 (RADS) として知られる非アレルギー性疾患による可能性がある。RADSを診断するための主な基準には、非アトピー性の個人に気道疾患の病歴がなく、刺激性物質へのばく露が確認されてから数分から数時間以内に持続性喘息様症状が突然発症することが挙げられる。RADSを診断するための他の基準には、肺機能検査での可逆性の気道閉塞、メタコリン負荷試験での中等度から重度の気管支過敏性、および好酸球増多症を伴わない最小限のリンパ球性炎症の欠如が挙げられる。刺激性物質の吸入によって引き起こされるRADS (または喘息) は、刺激性物質の濃度およびばく露時間と関連を持つ稀な疾患である。一方、産業性気管支炎は、高濃度の刺激性物質 (主に粒子) へのばく露が原因で起こる疾患であるが、ばく露停止後は、完全に可逆的である。特徴的な症状として、呼吸困難、咳、粘液産生が挙げられる。
二酸化チタン & アルミナホウ珪酸ガラス & 硫酸バリウム	文献調査では、有意な急性毒性データは確認されていない。

急性毒性	✗	発がん性	✓
皮膚腐食性/刺激性	✓	生殖毒性	✗
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	✓	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	✗
呼吸器感受性又は皮膚感受性	✓	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	✗
生殖細胞変異原性	✗	誤えん有害性	✗

凡例: ✗ - データ利用不可または、区分に該当しない
✓ - 分類済み

セクション12 環境影響情報

生態毒性

KwikWeld Twin Tube - Part B	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
Limestone	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
Quartz	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し
bis[(dimethylamino)methyl]phenol	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し	データ無し

KwikWeld Twin Tube - Part B

2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	EC50(ECx)	72h	藻類または他の水生植物	2.8mg/l	2
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	2.8mg/l	2
	LC50	96h	魚	175mg/l	2

二酸化チタン	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	BCF	1008h	魚	<1.1-9.6	7
	NOEC(ECx)	48h	甲殻類	0.003mg/L	4
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	3.75-7.58mg/l	4
	EC50	48h	甲殻類	1.9mg/l	2
	LC50	96h	魚	1.85-3.06mg/l	4

アルミナホウ珪酸ガラス	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	NOEC(ECx)	72h	甲殻類	>=1000mg/l	2
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	>1000mg/l	2

二酸化ケイ素	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	EC0(ECx)	24h	甲殻類	>=10000mg/l	1
	EC50	96h	藻類または他の水生植物	217.576mg/l	2
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	14.1mg/l	2
	LC50	96h	魚	1033.016mg/l	2

硫酸バリウム	エンドポイント	試験期間 (時間)	種	値	出典
	NOEC(ECx)	72h	藻類または他の水生植物	>=1.15mg/l	2
	EC50	72h	藻類または他の水生植物	>1.15mg/l	2
	EC50	48h	甲殻類	32mg/l	4

凡例: 1. IUCLID毒性データ 2. 欧州ECHA登録物質 - 生態毒性情報 - 水生毒性 3. EPIWIN Suite V3.12 (QSAR) - 水生毒性データ (予測) 4. 米国環境保護庁, Ecotoxデータベース - 水生毒性データ 5. ECETOC水生環境有害性評価データ 6. NITE (日本) - 生物濃縮性データ 7. METI (日本) - 生物濃縮性データ 8. ベンダーデータ から抽出

水生生物に対して有害であり、水生環境中で長期にわたり悪影響を及ぼすことがある。
表層水や平均高水位線以下の潮間帯域への流入を阻止すること。設備の洗浄もしくは設備の洗浄水の処理に際して、水域を汚染しないこと。

製品の使用により生じた廃棄物は、現場もしくは許可を受けた廃棄物処理場において処理すること。
下水道または水路に排出しないこと。

残留性・分解性

成分	残留性: 水域/土壌	残留性: 大気
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	高	高
二酸化チタン	高	高
二酸化ケイ素	低	低

生体蓄積性

成分	生物濃縮性
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	低 (LogKOW = 0.773)
二酸化チタン	低 (BCF = 10)
二酸化ケイ素	低 (LogKOW = 0.5294)

土壌中の移動性

成分	移動性
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	低 (KOC = 15130)
二酸化チタン	低 (KOC = 23.74)
二酸化ケイ素	低 (KOC = 23.74)

KwikWeld Twin Tube - Part B

内分泌かく乱特性

データ無し

セクション13 廃棄上の注意

廃棄方法

製品 / 容器 / 包装の廃棄方法	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 容器は空であっても化学的な危険有害性を有していることがある。 ▶ 可能な場合、適切な再使用 / リサイクルのため、製造者に返送すること。 ▶ 器具の洗浄に用いた洗浄水は排水路に流入させないこと。 ▶ 器具の洗浄に用いた洗浄水は、排出する前にすべて回収し適切な処理を施す必要がある。 ▶ 製造者にリサイクルの可否を問い合わせ、可能な場合はリサイクルすること。 ▶ 廃棄する場合は廃棄物の処理を管理している都道府県・市町村に問い合わせること。
-------------------	---

セクション14 輸送上の注意

陸上輸送 (ADG): 危険物輸送規制対象外

航空輸送 (ICAO-IATA / DGR): 危険物輸送規制対象外

海上輸送 (IMDG-Code / GGVSee): 危険物輸送規制対象外

MARPOL 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送

該当しない

MARPOL 附属書 V 及び IMSBC コードによるばら積み輸送

製品名	グループ
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	データ無し
Limestone	データ無し
Quartz	データ無し
bis[(dimethylamino)methyl]phenol	データ無し
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	データ無し
二酸化チタン	データ無し
アルミナホウ珪酸ガラス	データ無し
二酸化ケイ素	データ無し
硫酸バリウム	データ無し

ICG コードによるばら積み輸送

製品名	輸送タイプ
pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped	データ無し
Limestone	データ無し
Quartz	データ無し
bis[(dimethylamino)methyl]phenol	データ無し
2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol	データ無し
二酸化チタン	データ無し
アルミナホウ珪酸ガラス	データ無し
二酸化ケイ素	データ無し
硫酸バリウム	データ無し

セクション15 適用法令

物質又は混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped に関する適用法令

該当しない

Limestone に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

Quartz に関する適用法令

KwikWeld Twin Tube - Part B

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリント プロジェクト - 高懸念化学物質リスト

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 1 : ヒトに対する発がん性がある

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

bis[(dimethylamino)methyl]phenol に関する適用法令

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol に関する適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 優先評価化学物質

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律: 優先評価化学物質

日本 政府によるGHS分類

二酸化チタン に関する適用法令

Japan Occupational Exposure Limits - Carcinogens

ケミカル フットプリント プロジェクト - 高懸念化学物質リスト

世界保健機関(WHO) ナノ物質製造のための提案職業ばく露限度(OEL)

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質 - グループ 2B : ヒトに対して発がん性がある可能性がある

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本 許容濃度等

日本安衛法: 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

アルミナホウ珪酸ガラス に関する適用法令

日本 粉塵の許容濃度

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 製造輸入量の届出を要しない物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

二酸化ケイ素 に関する適用法令

世界保健機関(WHO) ナノ物質製造のための提案職業ばく露限度(OEL)

国際がん研究機関(IARC) - IARCモノグラフにより分類された化学物質

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

硫酸バリウム に関する適用法令

日本 労働安全衛生法

日本 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 - 既存化学物質 / 新規公示化学物質

日本 政府によるGHS分類

日本 粉塵の許容濃度

日本毒物および劇物取締法 - 政令(第2条)劇物

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
文書の交付

政令名称	政令番号
結晶質シリカ	別表第9の165の2
酸化チタン (I V)	別表第9の191

名称等を表示すべき危険物及び有害物

政令名称	政令番号
結晶質シリカ	別表第9の165の2

製造の許可を受けるべき有害物

政令名称	政令番号
該当しない	該当しない

関連する法令・条例

危険物 - 酸化性の物	該当しない
危険物 - 引火性の物	該当しない
有機溶剤	該当しない
特定化学物質	該当しない

労働安全衛生法

化管法

分類	政令名称	政令番号
該当しない	該当しない	該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

化審法

優先評価化学物質	フェノール
第1種特定化学物質	該当しない
第2種特定化学物質	該当しない
監視化学物質	該当しない

KwikWeld Twin Tube - Part B

一般化学物質 二酸化ケイ素, ビス (ジメチルアミノメチル) フェノール, ピグメント ホワイト-6, 二酸化ケイ素, 硫酸バリウム

国別インベントリ状況

国別インベントリ	状況
オーストラリア - AIIC / オーストラリア非工業用	No (bis[(dimethylamino)methyl]phenol)
カナダ - DSL	No (Limestone; bis[(dimethylamino)methyl]phenol)
カナダ - NDSL	No (pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped; Quartz; bis[(dimethylamino)methyl]phenol; 2,4,6-tris[(dimethylamino)methyl]phenol; アルミナホウ珪酸ガラス; 硫酸バリウム)
中国 - IECSC	Yes
欧州 - EINEC / ELINCS / NLP	No (pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped)
日本 - ENCS	No (pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped; Limestone; アルミナホウ珪酸ガラス)
韓国 - KECI	No (bis[(dimethylamino)methyl]phenol)
ニュージーランド - NZIoC	Yes
フィリピン - PICCS	Yes
米国 - TSCA	No (bis[(dimethylamino)methyl]phenol)
台湾 - TCSI	Yes
メキシコ - INSQ	No (pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped; bis[(dimethylamino)methyl]phenol)
ベトナム - NCI	Yes
ロシア - FBEPH	No (pentaerythritol, propoxylated, mercaptoglycerol capped; bis[(dimethylamino)methyl]phenol)
凡例:	Yes = 全ての成分がインベントリに記載されている No = 1つあるいはそれ以上のCAS開示成分が未記載であり、かつ、インベントリの対象外ではない (カッコ内の成分名参照)

セクション16 その他の情報

改訂日	05/18/2021
最初の発行日	02/10/2021

SDSバージョンの概要

バージョン	改訂日	更新されたセクション
1.5.2.1	04/26/2021	規制の変更
1.5.3.1	05/13/2021	規制の変更
1.5.3.1	05/17/2021	成分

他の情報

製品および各成分の分類は、公式かつ信頼性の高い情報源や、参考文献を使用したChemwatch分類委員会独自の評価によるものです。SDSはハザードコミュニケーションのツールであり、リスクアセスメントの一助として使用されるべきである。掲載されているハザードが、作業場やその他の環境においてリスクをもたらすか否かは、様々な要素により決定される。暴露シナリオを参照することにより、リスクが特定されることもある。使用規模、使用頻度および現行の設備管理も考慮しなければならない。

ChemwatchのAuthorITeで作成しました。